

スコアボード

国際チビツサッカー大会
9月8日(日) ~市内グラウンド
日朝親善サッカー大会
11月9日(土)
ニッパツツ沢球技場
三ツ沢陸上競技場・補助競技場
各年代別交流戦



発行 一般社団法人横浜サッカー協会
編集 同 広報委員会
〒222-0033
横浜市港北区新横浜2-6-3
DSM新横浜7F
TEL(045)474-4315 FAX474-4316
https://www.yokohama-fa.or.jp
印刷 神奈川新聞社
〒231-8445 横浜市中区
太田町2-23
TEL227-0739 FAX227-0785



U-12 バディーSC



U-10 横浜ジュニオールSC



U-8 横浜すみれSC



少女の部 緑ピクシーズ

第51回横浜市春季少年サッカー大会

U12 バディーSC
U10 ジュニオールSC
U8 すみれSC
少女の部 緑ピクシーズ

第51回横浜市春季少年サッカー大会は、ブロック分け抽選を行い市内各会場にて4月末より各カテゴリー予選リーグが行われた。

大会結果
【少女の部】
決勝戦
緑ピクシー 3-0 駒林ローズ

【U12】
決勝戦
バディー 3-0 SC
3位決定戦
横浜すみれSC 1-1 横浜FM 4PK3 リノスpr

【U10】
決勝戦
バディー 3-0 SC
3位決定戦
横浜ジュニオールSC 2-1 S

【U8】
決勝戦
横浜すみれSC 3-0 あざみ野FC
3位決定戦
横浜すみれSC 4PK3 リノスpr

U8、U10は、各ブロック2位までが決勝トーナメント出場。また、U12は県TOPリーグ参戦チーム、各ブロック1位が決勝トーナメントに出場した。少女の部は、参加14チームが2ブロックに分かれて市内各会場にて予選リーグを行い各ブロック上位2チームが決勝トーナメントへ進む大会形式。全カテゴリーの決勝戦、3位決定戦が6月23日に、しんよこフットボールパークにて行われた。

U12は、各ブロック2位までが決勝トーナメント出場。また、U12は県TOPリーグ参戦チーム、各ブロック1位が決勝トーナメントに出場した。少女の部は、参加14チームが2ブロックに分かれて市内各会場にて予選リーグを行い各ブロック上位2チームが決勝トーナメントへ進む大会形式。全カテゴリーの決勝戦、3位決定戦が6月23日に、しんよこフットボールパークにて行われた。

第44回神奈川県サッカー大会(兼関東U12サッカー大会(兼関東U12サッカー大会))は、県立スポーツセンターほか県内各会場で行われた。U12、U10ともにバディーSCが優勝した。

【U12】
優勝 バディーSC
準優勝 FC東海岸(茅ヶ崎)
3位 あざみ野FC

会長に石井和則氏
2024年度 定時総会
(一社)横浜サッカー協会は、6月20日に2024年度定時総会を開催した。同総会は、内田渉会長を議長に選出し、①第1号議案2023年度事業報告②第2号議案2023年度決算算連、同監査報告③第3号議案2024・2025年度役員改選

役員改選
役員は次の通り
会長 石井 和則
副会長 野口 隆
専務理事 鈴木 栄一
理事 岩澤 明彦
岩永 豊司
忍足 充
小林 仁

チーム
U12
バディーSC▽あざみ野FC▽横浜F・マリノスpr▽横浜ジュニオールSC▽横浜すみれSC
U10
横浜ジュニオールSC▽横浜すみれSC▽横浜すみれSC▽横浜すみれSC

一人一人がキャプテン
緑ピクシーズ 田中 結香
市大会連覇がかかった決勝戦は、メンバー全員緊張から始まりませんでした。

強い気持ちを持って
横浜ジュニオールSC 宇山 忠希
チームとして優勝をめざしてがんばってきたので優勝できて、とても嬉しいです。

ハーftime
皆さんは自分が間違っていることに気づいて、その間違えを教えてくれる人がいますか？私には若いころ大切なことを教えてくださった方がいます。

瞬間気を抜かず
バディーSC 徳武 魁
優勝できて本当にうれしかったです。特に印象に残った試合は決勝戦です。

チームの雰囲気を保ち続けられるようにしたいです。チームが一丸となり心一つにして戦った結果、勝つことができました。次の県大会、関東大会で優勝できるようにチームで練習にはげみたいと思います。

横浜FC鶴見が優勝

第59回市長旗ジュニア大会



横浜FC鶴見

令和6年度第59回横浜市長旗ジュニアサッカー大会は、横浜FC鶴見対大豆戸FCのクラブチーム同士の決勝戦となり、試合は0対0のまま延長戦となり、熱戦の末に1対0で横浜FC鶴見が大豆戸FCを下し優勝した。

同大会は、新年度早々に始まり中体連148チーム、クラブチーム28チームが参加してそれぞれ予選を行い、中体連、クラブチームともに8チームずつ本戦出場し、トーナメント方式の本戦を戦った。

横浜FC 鶴見 橋本光世
もつと上を目指し

今回、横浜FC鶴見は市長旗杯で優勝することができた。

この優勝は、僕たちが日々強度を高く、互いに高め合いながら練習をしてきた結果、手にすることができたことだと思っています。

今回の大会ではうまくいくことばかりではありませんでしたが、色々な課題や修正点も見つかりました。これからはこの大会で見つかった課題や改善点などしっかりと向き合い、もつと上を目指せるよう日々精進していきたいと思っています。

これからも多くの人に応援されるチームや選手になれるように頑張りますので、応援をよろしくお願いします。

最後に大会を運営してくれた方々や関わってくれた全ての方に感謝を伝えたいと思います。

リーグ優勝を表彰

社会人委員会総会

5月11日、関内ホール小ホールにて2024年度社会人委員会登録総会が開催されました。2023年度横浜市民リーグの表彰、リーグ、市民大会のレギュレーションの確認が行われた。今まで幹事チームだけで行っていた優先利用グラウンドの割り当ても、

石井和則新会長に聞く

今年度の定時総会において横浜サッカー協会会長に理事4種委員会委員長として活躍してきた石井和則氏が会長に就任した。今までの経験を踏まえ新たな舵取りを目指す新会長に抱負、横浜サッカーへの思いなどを語っていただいた。会長就任にあたっての抱負について

日のサッカーの発展につながっているものと思っております。

この伝統と歴史のある横浜サッカー協会の重みを感じながら、そして歴代会長の思いをしっかりと受け継いでいけるよう、三役、そして理事・監事らと力を合わせて協会の舵取りをしっかりと前に進めていきたいと思います。

サッカー環境の整備を

人との繋がりを大切に

横浜サッカー協会は、今年で92年目を迎えました。初代会長の中山脩式氏をはじめ様々な苦勞を乗り越え、サッカーの素晴らしさ、面白さを継承してきたからこそ今

た。少女の活躍できる環境が増えたということも横浜サッカーの大きな躍進かと思えます。

ご自身のサッカー経験

初代の堀内正明少年委員長の

初代の堀内正明少年委員長の下、1992年頃より少年委員会の委員となり、2001年に理事に就任する

小学校3年生の頃からサッカーを始めました。その頃は少年野球の方が盛んでした。サッカーのメッカである静岡県出身の先生が担任だったことから、いつも休み時間は校庭を占領して一緒になっ

はもろろん県大会決勝で元会長の高野一彦先生(故人)にレフリーをしていただいたことや三ツ沢球技場での横浜市長杯の決勝で前会長の内田渉先生顧問の末吉中と対戦したというのも今思うと必然のできごとだったように思います。

サッカーというスポーツは見えないうちで繋がっていて、必ずまたどこかで出会うがあるのがサッカーかと思えます。これまで私もサッカーを通じて色々な方と出会い、

そして人として成長させていいただきました。

横浜サッカーの発展へ、会長としての思いについて

横浜市は、幼児から大人までサッカー人口が最も多い都市に上げられ、市内に3つのJリーグチームを擁する都市は他に類を見ません。サッカーを愛する子ども達にとって夢の舞台が広がり、その子ども達の成長が地域の活性化となり、社会人、シニアとサッカーファミリーの輪が広がっていくことと思います。

サッカーというスポーツを通して人を成長させ、人と人との結びつきを強くして、横浜を元氣な街に、そして日本の国を良くしていくことが大切だと考えています。そのためにも、横浜市、横浜市スポーツ協会、神奈川県サッカー協会など関係諸団体との連携を密にしていくとともにJリーグクラブとの運営協力を図りながら、サッカー場の増設などサッカーの環境の整備、普及発展に貢献していきたいと思っています。

泉区選抜が優勝 横浜市区選抜大会(マリノス杯)



泉区選抜

その場で対戦カードまで決めて、グラウンドをキャンセルすることがないように全チームの協力に期待したい。

2023年度市民リーグ優勝チーム

1A・・・かながわクラシコ 1
B・・・クラブテアトロ 1C・・・

かながわクラブ 2A・・・FC LANDS 2B・・・WIN CHESTER FC 2 C・・・ミエール青葉 3A・・・FULNELSON 3B・・・該当なし 3C・・・NISHI Y A ALLYS 3D・・・常盤台II



キッズ大会

キッズ大会開会式

市内18区から選抜された区代表チームによる競技会、サッカーを通して心身の健全を目的とし、サッカーのレベルアップを目指す大会。

抽選会で3チーム6ブロックに分けて3月30日、予選リーグが市内各会場にて行われた。各ブロックの1位チームと全6ブロック2位の成績上位2チームが決勝トーナメントに進出。

選抜チームを編成して間もない時期であったが決勝トーナメントはどの試合も見ごたえのある好ゲームであった。決勝戦・三位決定戦は、日産小机フィールドにて4月7日に行われた。ワールドカードで勝ち上がった泉区選抜が優勝した。

ボールを
追いかけて
元氣いっぱい
キッズサッカー

2024 YFA スーパーキッズサッカーフェスティバルは、6月8日しんよこフットボールパークで行われた。このキッズサッカーフェスティバルは、年三回行われており幼児たちにとっては市内のチームと試合ができる楽しみなサッカーイベントとなっている。今回も加盟団体の幼児や単独で参加した幼児達が未来のJリーガーをめざし、元氣いっぱいボールを追いかけていた。

法人会員一覧

横浜マリノス(株)	(株) 横浜シミス
神奈川新聞社	JFE東日本ジーエス(株)
横浜食品開発(株)	(株) 横浜アーチスト
	(有) フリースタイル